

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 28-1-004
補助事業名 平成28年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業
補助事業者名 特定非営利活動法人ジャパンカップサイクルロードレース協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ジャパンカップサイクルロードレースの開催

本事業を開催することにより、ロードレースの魅力を多くの人々に発信するとともに、地域の活性化や「自転車のまち宇都宮」のPRを推進していく。また、本事業を通して、より多くの人々が自転車競技に興味を持ち、サイクリングなどの活動を始めることにより、エコロジーや健康づくりのきっかけともなり、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

10月8日 2016宇都宮シクロクロスシリーズ バイクスクール (城址公園)

10月8,9日 ジャパンカップサイクルフェスタ試乗会 (宇都宮市森林公園)



・バイクスクールの様子



・国内外メーカー25社が出展した試乗会

10月21日 参加選手によるチームプレゼンテーション (宇都宮市オリオンスクエア)



・熱気に包まれる会場



・ステージの様子

(別紙5)

10月22日 一般愛好家による自転車走行イベント (フリーラン: 宇都宮市森林公園)
JCF登録競技者による男女別レース (チャレンジレース, オープンレース
: 宇都宮市森林公園)

2016ジャパンカップクリテリウム (宇都宮市市内中心部大通り)



・ トップ選手と触れ合い (フリーラン)



・ スタート前の様子 (オープンレース)



・ 将来が期待される高校生による
レース (ホープフルクリテリウム)



・ ガールズケイリンによる
スペシャルレース (クリテリウム)



・ 市内目抜き通りを走る選手たち
(クリテリウム)



・ ゴール時の様子 (クリテリウム)

10月23日 2016ジャパンカップサイクルロードレース (宇都宮市森林公園/国際レース)



・ 登坂を駆け上がる選手たち (ロードレース)



・ ゴール時の様子 (ロードレース)

2 予想される事業実施効果

本事業を観戦した約13万5千人（ロードレース8万5千人，クリテリウム5万人）の観戦者がロードレースの魅力に触れたことにより、自転車競技の普及促進を図ることができたと考える。

また、出場する国内チームを他レースの結果によって選抜するほか、東京オリンピックなどで活躍が期待される高校生による公式レース「ホープフルクリテリウム」や、ガールズケイリン等のレース実施により、若手選手の育成や、日本の自転車競技レベルの向上に寄与していると考えられる。

3 本事業により作成した印刷物等 (<http://www.japancup.gr.jp>)

大会周知用チラシ 18,000枚 大会周知用ポスター 3,000枚



チラシ表



チラシ裏



ポスター1



ポスター2

大会プログラム 4,000部



プログラム表紙

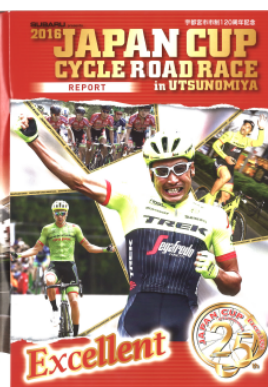


プログラム内容

大会報告書 350部



大会報告書表表紙, 裏表紙



(別紙5)

リーフレット



リーフレット表紙

リーフレット内容

リーフレット内容

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人ジャパンカップサイクルロードレース協会
(ジャパンカップサイクルロードレースキョウカイ)

住 所： 320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

代 表 者： 理事長 寺澤 悦夫 (テラサワ エツオ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務担当 奈良部 貴宣 (ナラブ タカノブ)

電 話 番 号： 028-632-2736

F A X： 028-632-2740

E - m a i l： japan-cup@city.utsunomiya.tochigi.jp

U R L： <http://www.japancup.gr.jp>